



太子町

太子17条のパートナーシッププランで協働のまちづくり

「みんなでめざします 豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまち 太子町」

はじめに

—こんな時代だからこそ「和」—

昨今の社会は、厳しい経済状況を反映するかのよう
に、人間関係が希薄になっています。

成熟の時代を迎え、社会の原理は効率、集中、画
一から選択、分散、個性へと変化しています。

この様な時代だからこそ、「聖徳太子にゆかりの
ある町!!」ならではの取組として、聖徳太子の
「和を以て貴しと為す」の精神をこれからのまちづ
くりを活かそうと考えました。



町下水道マンホール蓋 町の随所に「和」

本年4月にスタートした第4次総合計画の中で、
これまでに培われた協働のまちづくりから、自然環
境や歴史資源を活用しながら、新しいまちづくりを
進める指標として、聖徳太子の17条憲法にちなんで、
「太子17条のパートナーシッププラン」を策定しまし
た。

取組の経過

—手づくり、手さぐりの中で—

このパートナーシッププランは、専門のコンサル
タントなどに委託をせず、職員の手づくりにより作

成しました。

その狙いは、プラン策定の取組を通じ、まずは職
員が「自分たちのまちづくりをどう進めていくのか」
という課題の下、自らのまちのあり方について見つ
め直すことで全庁的な意識向上を図り、またそれが
住民のまちづくりに対する機運の醸成へとつながっ
ていくことを期待するものでした。

具体的には、平成16年7月に庁内組織として、若
手職員中心のワーキンググループを立ち上げ、メン
バーの職員はそれぞれの業務の傍ら、約2年間、十
数回に及ぶ会議を重ね、手探りの中で、このプラン
の概要をまとめました。

その間には、全職員対象のアンケート・提案募集や
住民アンケートを実施するとともに、青少年指導員・
防犯委員など町内の各種団体からヒアリングを行い、
多くの住民の意見を活かすことに努めました。また同
時に、総合計画策定審議会でも「太子町の特性を活か
すまちづくりをどのように進めるのか」というコンセ
プトで議論を重ねていただき、ようやく、「太子17条
のパートナーシッププラン」が出来上がりました。

「太子17条のパートナーシッププラン」とは

住民と行政が一体となって取り組んできた本町の
まちづくりを踏まえて策定された「太子17条のパー
トナーシッププラン」は、大きく分けると4項目で
構成しています。

①愛着と誇りを持てるまち

これからもずっと、町に住み続けたいと考えて
もらうことや、子どもたちから愛されるまちであ
るために、生涯学習の場やスポーツ活動を通じて
まちづくりを進めます。

②いつまでも快適で生き生きできるまち

快適で住みよいまちであるためには、住民一人ひとりの体と心が健康でなければなりません。恵まれた自然環境や歴史資源が残る好条件を活用しながら、地域ぐるみで健康づくりを行います。

③みんなの力で安全と安心を守るまち

地域の住民が自発的に防災訓練などの活動の輪を広げ、安全で安心して暮らせる地域コミュニティ活動を支援します。

④地域の魅力アップ

南阪奈道路の開通により広域的なアクセスが飛躍的に向上しました。

今後は、地場産業の活性化と新たな企業等の誘致を行い、町外や他府県との交流を増やし魅力溢れるまちづくりの環境を整えます。

町で培われてきた、協働のまちづくり

これまでも本町では、財政力に乏しいながらもコンパクトな身の丈に応じたまちづくりを行ってきました。そして「自分たちのまちは自分たちでつくっていく」という意識の下で「協働のまちづくり」の基礎を築いてきました。

<協働のまちづくり事例>

○全員参加型の町民体育祭 ふれあいT A I S H I

町民体育祭は、町制施行と同時に開催され、今年で50回目を迎えます。現在でも、誰もが参加できる行事として、住民や団体の皆さんと行政が一体になって育まれています。

また、ふれあいT A I S H Iは、太子町の子どもたちのほとんどが参加しているのでは？と感じるほどの人気のあるイベントとして親しまれています。

○1万人！！ クリーンキャンペーン

清潔で快適な美しいまちづくりを目指し、実施している「クリーンキャンペーン」は、毎年8月に全員参加により全町で取り組んでいる事例の一つです。今年で20年目となり、まちに定着した事業となっています。

○こんなに身近で蛭が舞うなんて！

大和川の支流、飛鳥川の上流部にあたる唐川^{からかわ}では、

治水工事にあたり、生態系に配慮して整備を行った結果、現在も蛭が生息する素晴らしい環境が残っています。

これからもこの情景を壊さず守り続けていくために、地元の住民など有志の方々が「唐川ホルタルを守る会」を結成され、地域の力で美しい環境が守られています。

○地域の子どもは地域で守る！！

子どもたちを犯罪から守るために、地域の住民と行政が連携し、青色防犯パトロール活動を実施し、着実な成果を挙げています。

おわりに

これからは、いわゆる「団塊の世代」の活躍の場などの模索をはじめ、新たな人材（NPO）の発掘、育成など課題はありますが、これまでの協働の基礎をステップとして、住民と行政がそれぞれの情報を共有し、相互の信頼関係を深めていきます。

そして、「太子17条のパートナーシッププラン」の達成を目指して、より住民と行政が協働する新しいまちづくりを進めていきたいと考えています。

